

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	音楽	種目	オーケストラ等
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	こうえきしやだんほうじん おおさかこうきょうがくだん			
	制作団体名	公益社団法人 大阪交響楽団			
	代表者職・氏名	理事長 芳井 敬一		団体ウェブサイトURL https://sym.jp/	
	制作団体所在地	〒	590-0074	最寄駅(バス停)	南海高野線 堺東駅
		大阪府堺市堺区北花田口町3-1-15 東洋ビル4階			
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/>	※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	おおさかこうきょうがくだん			
	公演団体名	大阪交響楽団			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL	
	公演団体所在地	〒		最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	1980年9月(公益社団法人化2018年11月)			
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
		理事長 芳井 敬一 副理事長 海堀 芳樹 常務理事 赤穂 正秀／他22名 監事 岸田 泰治(公認会計士)		事務局長 赤穂 正秀 他事務局員 17名 楽団員 48名(オーディションによる) 法人会員 272社959口／個人会員 204名 2025年9月1日現在	
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	常務理事・事務局長 赤穂正秀	
経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	中務 奈緒		
本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号		
	ako@sym.jp		0722265533		

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>【沿革】 1980年「大阪シンフォニカ」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。</p> <p>楽団名を「大阪シンフォニカ」から2001年1月に「大阪シンフォニカ交響楽団」、さらに2010年4月に「大阪交響楽団」と改称。また支援組織として、1988年大阪シンフォニカ協会が設立、2008年12月に一般財団法人となる。さらに2012年4月に支援組織と楽団を統合し、一般社団法人大阪交響楽団となり、2018年11月に公益社団法人となった。2000年本拠地を大阪府堺市へ移転。2006年4月、大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長CEO(当時) 橋口武男氏が運営理事長を経て、2018年11月公益社団法人大阪交響楽団理事長に就任。2020年10月に大和ハウス工業株式会社 代表取締役社長 CEO 芳井敬一氏に理事長をバトンタッチした。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史(常任指揮者)、柴田真郁(ミュージックパートナー)、高橋直史(首席客演指揮者)の3名が就任、2025年4月から2028年3月までの任期を延長も決まり、さらなる楽団の飛躍が期待されている。楽団公式ホームページ(https://sym.jp)</p> <p>【主な受賞歴】 1990年大阪府知事表彰。2007年音楽クリティック・クラブ賞受賞。2008年1月、平成19年度(第62回)文化庁芸術祭「芸術祭優秀賞」受賞。同年7月、平成20年度「堺市栄誉賞」受賞。2009年7月、平成21年度「堺市功績団体」として堺市より表彰。2010年1月、平成21年度(第64回)文化庁芸術祭「芸術祭大賞」受賞。2022年3月、令和3年度(2021年度)大阪文化祭賞を堺シティオペラと合同で受賞(il Teatro L'alba L'amore“オペラ×オーケストラ”公演に対し)。同賞の受賞は、91年、93年、99年、2000年、2013年に続き6度目となる。令和5年(2023年)5月、大阪府より知事表彰受賞。</p>
	学校等における公演実績	<p>令和2年度 高等学校依頼 1公演 子供育成総合事業 4公演 文化芸術体験機会の創出事業 6公演</p> <p>令和3年度 高校学校 1公演 子供育成総合事業 7公演 文化芸術鑑賞・体験支援事業 7公演</p> <p>令和4年度 堺市立小学校鑑賞会 10公演 高等学校依頼 2公演 子供育成総合事業 8公演 子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業 5公演</p> <p>令和5年度 堺市立小学校鑑賞会 8公演 舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 7公演 文化芸術による子供育成推進事業(文化施設等活用事業) 1公演</p> <p>令和6年度 堺市立小学校鑑賞会 8公演 舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 10公演 文化芸術による子供育成推進事業(文化施設等活用事業) 2公演</p> <p>令和7年度 堺市立小学校鑑賞会 6公演 舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 19公演 文化芸術による子供育成推進事業(文化施設等活用事業) 1公演 高等学校依頼 1公演</p>
	特別支援学校等における公演実績	<p>平成25年度 1公演(次代を担う子どもの文化芸術体験事業) 平成27年度 2公演(文化芸術による子供の育成事業) 令和2年度 1公演(文化芸術による子供育成総合事業)</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	無			
	※公開資料有の場合URL				
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

別添

なし

【公演団体名

公益社団法人 大阪交響楽団

】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	大阪交響楽団 演奏会			
企画のねらい	<p>チャイコフスキー3大バレエのひとつである「くるみ割り人形」を題材に取り上げます。本来バレエ公演の場合、オーケストラは、劇場のピットに入り舞台上にはセットが組まれ100名を越すバレエダンサーが壮大な踊りを繰り広げますが、音楽としても名曲ぞろいの中からピックアップし、クララ役のバレエダンサー1名と、ナレーションにより、児童・生徒の興味を深めつつ、鑑賞をより豊かな経験にすることを目的とします。</p> <p>また、共演コーナーでは、児童・生徒が出演者と合唱や吹奏楽などで共演することで、一体感が生まれ、より深い経験となり、さらに希望する学校では校歌も共演をおこないます。バレエ音楽からは、鑑賞を通して、舞台芸術や作品に係わる様々な事柄への幅広く深い学びとなり、さらには児童・生徒のキャリア形成の一助となることを目標としています。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>大阪交響楽団オリジナル楽器紹介……</p> <p>キーワードは“4”。オーケストラはすべて“4”で成り立っています。木管・金管・弦楽器・打楽器の4セクション、フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴットの木管の4つの楽器、ソプラノ・アルト・テノール・バスの4声部、ヴァイオリンなどの弦楽器は4本の弦がはってあります。それらの説明をナレーションにのせ、それぞれ楽器の特徴がよくわかる曲を演奏していきます。(大阪交響楽団オリジナル曲です)</p> <p>クララのクリスマス(チャイコフスキー バレエ音楽「くるみ割り人形」より)…</p> <p>クリスマス・イブの夜、クララの家ではパーティーが開かれ、大勢の招待客で賑わっています。人形使いが、クララに酔い“くるみ割り人形”をプレゼントします。他の子供たちはこの人形を笑いますが、クララはこの人形を気に入ります。やがてパーティは終わりその夜、クララが目を覚ますと、クリスマス・ツリーがどんどん大きくなり(クララが小さくなつた)、クララは“くるみ割り人形”とネズミの大群の戦いに遭遇し、スリッパを投げて人形を助けます。人形が勝利して戦いが終わると、“くるみ割り人形”は王子様に変身し、クララをおとぎの国(お菓子の国)に連れていきます。おとぎの国では、クララを歓迎して、いろんな踊りが披露されます。アラビアはコーヒーの踊り、スペインはチョコレートの踊り、中国はお茶の踊り、そしてロシアの踊り。最後に金平糖の精と王子が踊ります。ふと気がつくと、クララは自分の部屋で目を覚まし、すべてが夢だったことに気がづきます。</p> <p>今回のプログラムは、大変有名なチャイコフスキーのバレエ「くるみ割り人形」から、選りすぐりの曲をナレーションで進行し、バレエ・シャンブルウエスト(毎年2回の定期公演ではオーケストラピットに入っています。)のダンサーによるバレエとパントマイムを加入了演出で、児童・生徒が、より音楽に興味を持つようオリジナルの企画としました。</p> <p>吹奏楽・金管バンド・リコーダー・合唱などとの共演……</p> <p>児童・生徒との共演を通して、より身近な演奏と鑑賞の体験をすることを目指します。吹奏楽の編成は学校によってさまざまですが、当団オリジナルで共演用にオーケストラ部分をアレンジしました。本来オーケストラにはない、サキソフォーンやユーホニアムなどの吹奏楽楽器にも共演の機会を持つてもらい、吹奏楽部生徒全員で共演できる楽しみを共有します。吹奏楽以外にも、器楽合奏(アコーデオンなど)や鼓笛隊、金管バンド、リコーダー、合唱など、共演形態はさまざまです。希望の共演形態と曲目は①～③の中から選択できます。</p>			
児童・生徒の参加または体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> ※ ラデツキー行進曲では指揮にあわせて全員で手拍子を。手拍子を大きくしたり小さくしたり、音楽に合わせ変化します。 ※ 吹奏楽部との共演が可能。共演できる楽器は吹奏楽部の楽器全員です。曲は1曲選択 ※ 小学校では、校歌で金管バンドや器楽部、ソプラノリコーダーや吹奏楽など学校の形態に応じた形での共演が可能です。 ※ アンコールに校歌を全生徒一緒に歌います。合同開催校がある場合、複数の校歌のメドレーも可能です。 ※ 地域のオリジナル共通教材(市歌・町歌)などがあれば、複数開催校で一緒に歌うこともできます。 			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人數目安	全校児童・生徒(10～700人程度)	
		鑑賞人數目安	全校児童・生徒(10～700人程度)	

本公演項目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>3332-4331 Timp1 Per3 Harp Celesta 10-8-6-6-5 計63</p> <p>【オープニング】 ジョン・ウイリアムズ 映画「スターウォーズ」から “メインテーマ”</p> <p>【オーケストラ解剖】 なかむら たかし 大阪交響楽団オリジナル楽器紹介“オーケストラの仲間たち” ～～休憩 10分～～</p> <p>【クララのクリスマス】 チャイコフスキイ バレエ音楽「くるみ割り人形」より(ナレーションつき) 序曲/行進曲/くるみ割り人形と二十日ネズミの戦闘/冬の松林(クリスマスツリーの中で) トレパーク(ロシアの踊り)/花のワルツ/金平糖の踊り/終幕のワルツとアポテオーズ</p> <p>【オーケストラと共に演しよう!】(下記の中から共演曲1曲を選択) ① 杉本竜一 ピリーブ (小学校向け) 合唱/ソプラノ・リコーダー ② 金管バンド/吹奏楽共演 スーザ 行進曲「星条旗よ永遠なれ」/スーザ 行進曲「ワシントンポスト」 ③ 合唱共演 八木澤教司 あすという日が/菅野よう子 花は咲く アンコール① J・シュトラウスⅡ ラデツキー行進曲 アンコール②【校歌と一緒に歌おう!】 (校歌でも吹奏楽・器楽合奏・リコーダー合奏などと共に演できます)</p>				
	公演時間 90 分				
出演者	管弦楽 大阪交響楽団 基本編成 3管10型 演奏者63名 + 指揮者 + 司会者 + バレエダンサー 指揮 平川範幸、磯部省吾 ほかで調整 バレエ 阿部美雪、伊藤可南、鈴木愛澄 より1名(バレエシャンブルウエスト)				
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	指揮者 : 平川 範幸／福岡県出身。福岡教育大学卒業。上野学園大学研究生「指揮専門」にて下野竜也、大河内雅彦の各氏に師事。桐朋学園大学オーブンカレッジにて、黒岩英臣、沼尻竜典の各氏に師事。プロオーケストラの指揮はもとより、各地のジュニアオーケストラや学生オーケストラ、吹奏楽団、合唱団も指揮する。2016年より2021年まで、仙台ジュニアオーケストラ音楽監督を務める。 指揮者 : 磯部 省吾／1956年、大阪府生まれ。愛知教育大学卒業、同大学研究科修了。桐朋学園大学研究科修了。指揮を提携作にて師事。1985年、東京バレエ団「くるみ割り人形」で全幕デビュー。バレエ音楽に關し、数々のバレエ団体の公演を指揮しており、高い評価を得ている。東京ミュージック&メディアアーツ尚美講師、日本指揮者協会会員。				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人數含む	出演者: 66 名 スタッフ: 10 名 合 計: 76 名		運搬	積載量: 4 t 車 長: 8 m 台 数: 2 台	
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込 到着 7:30		無 仕込 7:30～10:30	前日仕込所要時間 上演 13:30～15:00	時間程度 内休憩 10 撤去 15:00～17:30 退出 17時30分
					※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月	7月	8月	9月
	11日	7日	0日	5日
	10月	11月	12月	1月
	7日	5日	11日	8日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。		計	54日
本公演・ワークショップの内容				
公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真)				
※会場条件につ いて最低限必要 な条件がある場				
著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 公益社団法人 大阪交響楽団】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	本公司の事前学習として、楽器の名前や形・色・音色などにふれること、またオーケストラのお話を聞くことにより、さらに興味を喚起します。プロ奏者による共演の事前指導で、児童・生徒に多くの刺激と感動を与えます。		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	全校児童・生徒(10~700人程度)
	ワークショップ実施形態及び内容	<p>オーケストラの楽器の中から代表して、木管・金管・弦楽器の各セクションから各1名、計3名+ピアニスト1名+スタッフ2名がまいります。</p> <p>① 全校児童・生徒対象に、2时限(45分×2时限=約100分)の枠内で、ミニコンサートと、木管・金管・弦楽器についてのお話をします。(実質内容60分~70分)(各楽器の発達してきた歴史や、楽器のしくみ、音の出し方などを説明し、実際に音を出す体験をします。)また、本公司のオーケストラへの興味を促し、鑑賞へと繋がるように、オーケストラの編成などのお話を(キーワード”4”)もします。生徒には、オーケストラの資料を事前に配布し、ワークショップ当日は、資料とともに、理解を深めます。</p> <p>② 共演コーナーで共演する曲目(リコーダーや、金管バンド・合唱・吹奏楽等)の事前共演指導(レッスン)を行います。(実質内容 編成により20分~100分)</p>		
	その他ワークショップに関する特記事項等	特になし		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名】 公益社団法人 大阪交響楽団】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。					
	・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。					
	・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。					
	・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。					
	上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。					

会場条件	(必須) 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。					
	会場の設置階の制限	2F以上応相談	主幹引き込み電源容量	60	A以上	
	舞台設置面積	間口	20~25 m	奥行	8~10 m	
		高さ	m			
	舞台設置場所	プロア対応	可	学校のステージでの対応	不可	
	搬入間口の広さ	幅	1.5~2 m	高さ	1.8~2 m	
	遮光の要否	5割程度必要	縦帳の要否	有無のみ確認したい		
	ピアノの使用について	ワークショップにおいてのみ使用する	ピアノを使用する場合の設置位置の指定			条件なし
			ピアノを使用しない場合の移動の要否			条件なし
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	m以内		
	搬入車両の種類	大型トラック	台数	2	台	
	搬入車両の大きさ	車幅	2.3 m	車長	8.3 m	
	備考	トラック高さ 3.4m				

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

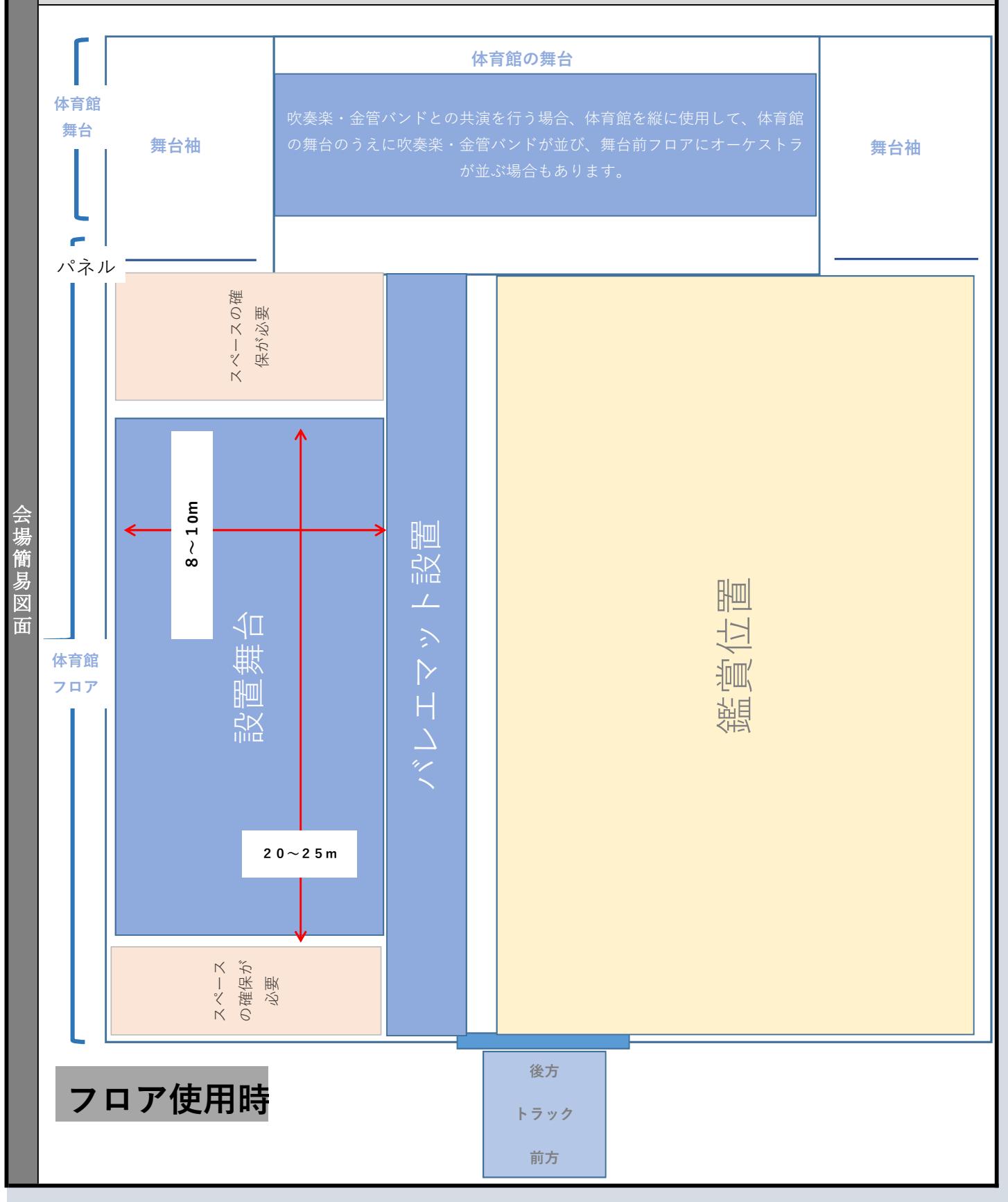
学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。					
	会場図面の提出要否	要				
	その他提出が必要な資料(搬入間口や搬入経路の写真の提出等)					

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。 なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。							
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。								
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考				
	ワークショップ 共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	90分程度	放課後	金管バンド、吹奏楽共演とのレッスン					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	4トントラック2台以外に大型バス2台、乗用車1台搬入あり
	2	控室 教室(25名程度)×2部屋、小部屋(1名)×3部屋 使用
	3	ワークショップにおいてのみピアノを使用(可能な限り調律をお願いします)

(任意) 会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名】 公益社団法人 大阪交響楽団

】

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

開催決定校に対し、会場のスペースが許す限り、近隣校、併設の幼稚園や、保護者・地域の方などに告知いただき、出来るだけ多くの方に鑑賞いただけるよう取り組んでおります。採択校の児童・生徒がメインですが、日本全国くまなく小さな町まで巡回することから、地域の方々にも本物のオーケストラによる文化・芸術を体験していただきたく機会となればと思っております。趣旨から地方都市での公演が多く、大半の児童・生徒は生のオーケストラに接する機会が殆どありません。迫力あるオーケストラの演奏を学校の体育館で聴くということは、一生に幾度もない大変貴重な経験となります。子供たちの公演後の感想で「もう二度とオーケストラを聴くことは無いと思いますが…」というようなコメントを聞くこともあり、我々としてはこの体験をきっかけに音楽やオーケストラや色々な楽器に興味を持っていただけるようにと考えています。子供たちが成長したときに、学校の体育館でオーケストラを聴いたことを思い出しました聴きに行きたいと、思っていただけたらと願っています。時間はかかりますが、本事業は文化のすそ野の聴衆開拓という側面も担っていると捉え、我々文化団体も出来るだけ知恵を出し合い続けていくべき事業であると考えています。

初めてオーケストラを聴く・見る子供たちがほとんどだと思いますので、アニメや流行の曲ではなく、これぞオーケストラと言えるような正統派クラシックの選曲にこだわっています。また学校から、地元の新聞(地方紙)やコミュニティ雑誌などに積極的に声をかけていただき、演奏会の取材をしていただいている。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

開催が決定したあと、各学校へ実施に向けての詳細な資料をお送りしています。過去に実施した公演の写真やDVDなど、より具体的にイメージができる内容となっています。出来るだけ詳細な資料を準備し、専門用語をあまり使わずわかりやすく説明しております。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

メールや電話にて、コミュニケーションを図りつつ、学校側から出る質問や懸案事項など、その都度対応し、多忙な先生方の負担軽減のため、必要書類は最適なタイミングで学校に送付出来るように調整しております。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

小学校では、校歌で金管バンドや器楽部、ソプラノリコーダーや吹奏楽及び合唱など、また中学校では、吹奏楽部、合唱部というようなそれぞれの学校の形態に応じた形での共演により、オーケストラを身近に感じる体験を増やす工夫をしています。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

実施後には、児童・生徒・先生に、「公演を聴く前後で、音楽や芸術に対する気持ちや取り組みに変化があったか等」アンケートを実施することで、音楽や芸術への意識付けを行い、音楽やクラブ活動の際への学びと繋げる